

試行的調査地域の概要(1)

地域名	地域の概要(人口:国勢調査(H17)より)	地域の強み・弱み(現地調査、ヒアリング等より)	検討の視点(案)
十勝(北海道)地域	・帯広市(17万人)など1市16町2村 ・東京都の約5倍の面積に東京都の約2.8%の人口が居住、その中でも帯広都市圏に人口が集中。モノセントリックな地域構造 ・面積の22%が畑	(強み)大規模農業が盛ん、食品製造業も立地。 (弱み)農業の大規模化にともなう散居化による地域コミュニティの弱体化、中心市街地の衰退、観光入込客数の低迷、公共交通の利便性の悪さ、高規格幹線道路の未整備	・主要な地域産業(農業、食品加工等)の維持・発展 ・モノセントリックな地域構造 ・圏域周縁部の人口減少 ・地域資源を活用した観光振興
気仙沼(宮城)地域	・気仙沼市(6.6万人)など3市3町 ・険しいリアス式海岸、津波の危険性を抱えるが、豊かな漁場と良港を活用した水産業が、主力産業として存在	(強み)豊かな漁場と良港を活用して、品質の良いワカヒレ、アワビ、ワカメ等を出荷、風光明媚な地形地勢 (弱み)リアス式海岸に阻まれ交通不便、仙台・東京等へのアクセスも不便、著しい人口減少・高齢化、津波の危険性	・県境をまたぐ市町村間の連携により、生活機能の役割分担と集約・ネットワーク化による行政サービスの向上 ・高速交通体系の整備による、流通の改善、水産業等の産業の活性化
銚子(千葉)地域	・銚子市(7.5万人)など3市1町 ・東京から100km圏で関東平野の最東端。利根川と太平洋に挟まれた温暖な地域。 ・漁業や農業が盛ん。水揚量は日本一。	(強み)豊かな漁場、温暖な気候、大消費地への近接性を活かした漁業・農業、豊富な食材・観光資源 (弱み)人口減少、少子・高齢化、中心市街地の衰退、儲からない漁業、高規格幹線道路へのアクセスの悪さ	・漁業を活かした地域づくり ・産業活性化による雇用の確保、神栖との連携による定住人口確保 ・「J」ターン、二地域居住の推進、観光促進による交流人口の拡大 ・医療、教育等基幹的サービスの確保
相模原(神奈川)・町田(東京)地域	・相模原市(70万人)、町田市(41万人)の2市 ・東京、横浜等のベッドタウン ・多数の大学キャンパスを抱え学生の街 ・相模原台地上に位置する丘陵地帯で、相模湖・津久井湖及び宮ヶ瀬湖等の水源を含む豊かな自然を残す	(強み)人口増加、東京都心・横浜等への近接性 (弱み)東京都心や横浜方向に比して両市連携のサービス・アクセスが弱い、中心市街地の拡散、業務都市としての機能が貧弱	・相模原市・町田市の連携による教育、消防、救急車等の住民サービスの向上 ・生活機能の相互利用を前提とした社会資本整備(中心市街地整備等)、公共交通機関の改善
長岡(新潟)地域	・県内第2の長岡市(28万人)など3市2町(38万人) ・海岸部から中山間地を抱える。 ・我が国屈指の豪雪地帯。 ・平成16年度に「平成16年7月新潟・福島豪雨」「新潟県中越地震」、平成19年に「新潟県中越沖地震」被災。	(強み)陸上交通の要衝(上越新幹線、関越・北陸自動車道など)。多数の工業団地や先端産業(半導体などの電子機器等)の集積。 (弱み)積雪の影響(救急医療到達範囲の減少、除雪・雪下ろしの困難な世帯の増加など)。中心市街地の高齢化、空洞化。若年層の域外流動。	・若者の就業に魅力のある地域産業の活性化、流動性の改善 ・新たな居住人口の拡大、世代バランスのとれた中心市街地再生 ・中山間地域の安心した暮らしの確保 ・地域資源を活用したニューツーリズム
高山(岐阜)地域	・高山市(9.7万人 H17に1市9町村が合併)など3市1村 ・高山市、飛騨市、白川村、下呂市は、全国的に有名な歴史的資源・温泉を有する観光地 ・高山市の92.5%が森林、可住地はわずか ・市としての面積(約2,180km ²)は日本一(東京都と同面積)	(強み)世界遺産の白川郷、高山・古川の古い町並みや祭りなどの地域資源。飛騨の伝統工芸、特殊な地勢を利用した高冷地野菜など。太平洋と日本海を結ぶ東海北陸自動車道が本年7月に全通。 (弱み)事業所、高等学校が旧高山市に集中。大学が無いことや就業機会が少ないことによる人口流出。豪雪による生活への影響。	・高冷地野菜の飛騨ブランド化、高付加価値商品による収益向上 ・伝統文化、「飛騨の匠」を組み込んだ観光による活性化 ・農林畜産業と観光産業を融合・活性化の拠点に道の駅などを活用 ・建設業の人材・技術の活用などによる農林畜産業の再生・活性化
舞鶴・京丹後・宮津(京都)地域	・舞鶴市(9.2万人)、宮津市、京丹後市などの3市2町 ・京丹後市から大阪市まで車で2時間強。近畿圏と北東アジア・ロシアとの結節点。 ・3市2町の人口は昭和20年代後半より減少傾向	(強み)京阪神大都市圏の日帰り圏。天橋立や温泉等の観光資源。 (弱み)圏域全体として長期的な人口減少。伸び悩む観光入込客数。交通基盤が脆弱なため、圏内の繋がりが希薄。	・京阪神都市圏と北東アジア・ロシアとの結節点の機能強化 ・人口集積が少ないなかでの生活機能の維持・確保 ・丹後観光圏の活性化
橿原(奈良)地域	・橿原市(13万人)など5市4町 ・奈良盆地南部に位置する京阪神都市圏への通勤圏 ・飛鳥・藤原京・今井町など豊かな歴史文化資源	(強み)京阪神都市へのアクセスが容易。南阪奈道路や京奈和自動車道などの整備による、奈良県内東西南北の交通の要衝化。 (弱み)県外就業率が日本一、脆弱な基幹産業。観光資源を有するが、滞在型観光に繋がっていない。吉野郡部など過疎化の進展。	・京阪神大都市圏との強い結びつきの活用 ・奈良県内東西南北の交通要衝化に伴う、物流拠点・産業拠点の形成 ・橿原を核とした県南部市町村の生活機能の確保 ・歴史的資源を活かした周辺地域との広域観光化
松江(島根)・米子(鳥取)地域	・松江市(20万人)、米子市(15万人)など4市1町1村 ・中海、宍道湖を囲む地形 ・皆生温泉、松江城、宍道湖など観光資源が豊富 ・境港は山陰有数の水産業の盛んな地域である	(強み)松江城などの観光施設が集積。市町村内総生産や商品販売額など、産業面・経済面とも山陰地方の1/3を占める。 (弱み)生活・経済的なまとまりと行政的まとまりが不一致であり生活利便性を阻害。交通・物流コストが割高で人流・物流を阻害。	・山陰の拠点としての松江・米子地域の吸引力の維持 ・松江・米子地域とこれらに依存する周辺部との機能分担・連携(観光を軸とした経済・産業面、医療をはじめとした生活機能全般)
四万十(高知)地域	・四万十市(3.8万人)など3市5町1村 ・林野面積率は83.8% ・豊かな自然環境に恵まれ、観光資源が豊富。 ・農林水産業に依存	(強み)四万十川や足摺岬などの観光資源。カツオなどの水産業。 (弱み)大阪等の大消費地まで遠距離で、出荷が厳しい。高齢化に伴う後継者不足。農水産品の食品加工など産業間の連携が弱い。	・農林水産業の構造転換(大規模市場への出荷の拡大、農林水産品のブランド化)、加工産業化の強化 ・異業種との連携(異業種による農林水産業への参入、農林水産業と観光の連携)
阿蘇(熊本)・竹田(大分)地域	・阿蘇市(3.0万人)、竹田市(2.7万人)の2市 ・県境を挟んで隣接する九州山地の中央部。熊本市と大分市を結ぶ国道57号により連絡 ・観光業、農林畜産業が基幹産業の自然豊かな地域	(強み)九州の中央部に位置し、九州主要都市との連携可能。阿蘇くじゅう国立公園内を中心に観光資源が豊富。湧水、バイオマス等の資源豊富。 (弱み)各県の端であるため道路等整備の遅れ。冬季寒冷、山間部の高低差ある地形。雇用弱く若年層が流出。高齢化、人口減少による後継者不足。	・生活環境(医療・福祉・買い物・教育・防災)改善 ・生活者の就業環境改善(観光・農業活性化、新産業創出) ・伝統・文化の継承、交流・連携による集落の魅力・活力向上

試行的調査地域の概要(2)

地域名	対象市町村名、人口	主要都市までの距離・アクセス時間(自動車(高速利用))	人口密度、その他人口分布の偏在性(中心市への集中)等	20代30代人口率(20歳~39歳、H17)	高校卒業前後(H12の15~19歳とH17の20~24歳の人口増減(人))	大学卒業前後(H12の20~24歳とH17の25~29歳の人口増減(人))	高齢化率(H17:65歳以上)	地域の主要産業の状況	地方税収額(万円/人)	農業産出額(万円/農家1戸)	漁獲金額(販売額)(億円)	製造品出荷額等(万円/人)	商品販売額(小売・卸売)(万円/人)	事業所の増減率(H13 H18)	地域資源の状況	年間観光客数	人口1万人当たり医師数
出典				国勢調査(H17)	国勢調査(H12、H17)	国勢調査(H12、H17)	国勢調査(H17)		統計でみる市区町村のすがた2008(統計局)	統計でみる市区町村のすがた2008(統計局)、2005農林業センサス	漁業センサス(H15)	統計でみる市区町村のすがた2008(統計局)	統計でみる市区町村のすがた2008(統計局)	事業所・企業統計調査(統計局、H13、H18)		地方公共団体の観光統計等より	統計でみる市区町村のすがた2008(統計局)、国勢調査(H17)
十勝(北海道)地域	帯広市、音更町、幕別町、芽室町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町:35万人	札幌まで220km 230分	十勝地域全体 91人/km ² 帯広市 450人/km ² 、帯広都市圏(帯広市、音更町、幕別町、芽室町)200人/km ²	23.7%	-3,599	1,714	22.0%	農業(酪農、畑作)。主要作物(全国シェア)は、いんげん(76%)、小豆(46%)、てんさい(40%)、等。第1次就業率(全国平均の約3倍)、第1次産業総生産額の割合(全国平均の約10倍)。	11.4	3703	78	98	368	-5.7	十勝川温泉、ばんえい競馬、十勝ブランドの乳製品、菓子類 など	約900万人	15.0
気仙沼(宮城)地域	宮城県:気仙沼市、本吉町、南三陸町:9.7万人 岩手県:陸前高田市、大船渡市、住田町:7.5万人 17万人	仙台市まで100km 150分	120人/km ² 気仙沼市は290人/km ² 、気仙沼市・大船渡市中心部にDIDを形成	18.0%	-3,337	295	27.9%	漁業(水揚げ額東北一、まぐろ延縄水揚げ日本一、フカヒレ全国シェア9割)、水産加工業	8.0	147	448 宮城338 岩手111	120	197	-4.1	リアス式海岸の景観、フカヒレ、生鮮まぐろ・かつお、気仙材、気仙大工	約200万人(気仙沼市)	11.5
銚子(千葉)地域	茨城県:神栖市:9万人 千葉県:銚子市、旭市、東庄町:17万人	東京まで100km 120分	600人/km ² 特に銚子中心部は4,000人/km ² 以上	22.1%	-1,339	343	24.1%	漁業(水揚量日本一)、農業(キャベツ)、水産加工業、醤油醸造。第1次産業就業率が約15%(全国平均の3倍)。	13.4	1227	86	733	210	-6.5	銚子電鉄、銚子漁港、近海マグロ、イルカウォッチング、九十九里浜	約236万人	18.1
相模原(神奈川)・町田(東京)地域	神奈川県:相模原市:70万人 東京都:町田市:41万人 111万人	町田から新宿まで30km 30分(小田急線)	2地域平均2,800人/km ² 特に町田市全域及び旧相模原市内は5,000人/km ² 以上	30.9%	14,021	-9,436	16.2%	卸・小売業が26.5%で第1位、続いて、飲食店・宿泊業、医療・福祉、教育、製造業。	15.2	134	-	139	185	-3.6	寺社・仏閣、相模湖、キャンプ施設・公園	約720万人(相模原市)	17.9
長岡(新潟)地域	長岡市、小千谷市、見附市、出雲崎町、川口町:38万人	新潟まで60km 35分 東京まで250km 170分	320人/km ² 特に長岡中心部は5,500人/km ² 以上	23.6%	-3,712	-102	23.7%	工業(一般機械器具、精密機器)、農業(米、れんこん)、国内有数の錦鯉の産地(旧山古志村、小千谷市)。第2次産業就業率が35%(全国平均の約1.3倍)	11.7	227	3	248	282	-10.2	長岡花火(長岡まつり)、片貝花火、魚のアメ横(鮮魚センター)、蓬平温泉、牛の角突き、スキー場、国営越後丘陵公園	約700万人(長岡市)	16.3
高山(岐阜)地域	高山市、飛騨市、下呂市、白川村:17万人	名古屋まで160km 150分	40人/km ² 旧高山市では480人/km ²	22.0%	-1,885	1,037	25.3%	農業(トマト、ホウレンソウなどの高冷地野菜)、畜産(飛騨牛)。第1次産業就業率が10.9%(全国平均の2倍強(高山市))。	14.2	254	-	124	200	-7.1	高山市・飛騨市古川町古い町並み、奥飛騨温泉郷、白川郷、下呂温泉、以上ミシュラン3ツ星観光地	約700万人	17.3
舞鶴・京丹後・宮津(京都)地域	舞鶴市、京丹後市、宮津市、与謝野町、伊根町:20万人	舞鶴市から大阪市まで140km 130分	170人/km ² 舞鶴市は東西二極型の都市構造	20.4%	-4,264	1,497	26.6%	造船・ガラス(舞鶴市)、輸送用機械、ニッケル、繊維工業(丹後ちりめん)、農業(丹後コシヒカリ、京たんご梨)	11.9	146	49	155	182	-12.7	天橋立、伊根の舟屋、琴引浜、赤れんが倉庫群、丹後ちりめん、丹後ワイン、間人ガニ	約700万人	19.0
橿原(奈良)地域	橿原市、大和高田市、桜井市、葛城市、御所市、高取町、明日香村、大淀町、吉野町:37万人	大阪市まで35km 40分	850人/km ² 橿原市は3,200人/km ²	25.1%	-1,971	-1,816	20.4%	電子部品、パルプ・紙、繊維、巨大ショッピングモール(西日本随一)、農業(米)	10.7	132	-	173	170	-11.0	飛鳥、藤原京、今井町、大和三山、談山神社、吉野山、吉野葛、柿の葉寿司	約820万人	28.4
松江(島根)・米子(鳥取)地域	島根県:松江市、安来市、東出雲町:25万人 鳥取県:米子市、境港市、日吉津村:19万人 44万人	広島まで170km 200分 大阪まで240km 220分	380人/km ² 特に松江市、米子市中心部はとも4,000人/km ² 以上	24.2%	-3,569	748	22.6%	水産業(境港市でまぐろ、紅ズワイガニの水揚量日本一、松江市ではヤマトシジミの水揚量が日本一)、工業(安来鋼はカミソリ素材の世界40%以上のシェア)、生菓子製造業(松江は日本三大菓子処の1つ)	12.2	145	97 島根 5 鳥取92	143	309	-7.5	松江城、堀川遊覧、皆生温泉、玉造温泉、宍道湖、大山、足立美術館(庭園日本一)、水木しげるロード	約1,400万人	34.0
四万十(高知)地域	高知県:四万十市、宿毛市、土佐清水市、四万十町、大月町、三原村、黒潮町:12万人 愛媛県:愛南町、松野町:3.0万人 15万人	高知市まで120km 150分	60人/km ² 四万十市に25%の人口が集中	17.6%	-3,285	922	30.5%	水産業(かつお類)、農業(野菜・米)、林業(檜・杉)。第1次産業就業率が約20%(全国平均の4倍)	7.9	244	467 高知212 愛媛255	35	143	-4.7	四万十川、足摺岬、大堂海岸、ホエールウォッチング、清水さば	約81万人(四万十市)	19.4
阿蘇(熊本)・竹田(大分)地域	熊本県:阿蘇市:3.0万人 大分県:竹田市:2.7万人 5.6万人	熊本市まで70km 110分 大分市まで60km 80分	66人/km ²	16.5%	-1,240	136	33.9%	農業(高原野菜(トマト、キャベツ)、米、かぼす)、畜産業(肉牛、酪農)、第1次産業就業率が26%(全国平均の5倍以上)、観光産業	7.9	485	-	114	120	-7.8	阿蘇くじゅう国立公園(阿蘇山、久住高原)、内牧温泉、竹田湧水群、高原野菜等	約910万人	17.8
全国値・平均				26.7%			20.1%	第1次産業就業率 4.8% 第2次産業就業率 26.1% 第3次産業就業率 67.2% 分類不能 1.9%	13.8	309		232	422			約910万人	21.7